
～「人手が足りない!!」「職場が回らない!!」を部署内で解決する～ 業務のムリ・ムダ・ムラの「見える化」による 人手不足解決方法

業務のムリ・ムダ・ムラを「見える化」→ 問題解決→ 人員捻出→ 人手不足解決!!

【受講対象者】 人手不足に悩む部課長・主任クラス(部署不問)
業務改革推進部門および総務・人事・管理部門の部課長・主任クラス

【受講のおすすめ】

人手不足を解決しようにも、労働人口の減少した日本ではなかなか厳しいのが実態です。そのような状況下においては新規雇用(外国人、高齢者)や定年延長よりも、業務効率向上によって余剰人員を捻出した方が現実的かつ安上がりです。そもそも従業員が定着しない職場風土を放置して新規雇用したところで、人手不足問題が解決しないことは誰の目にも明白です。

そこで当セミナーでは、間接業務とその遂行方法のムリ・ムダ・ムラに起因する従業員の悩みや困りごと、不平不満、および会社への提言(こうしてほしい)を「見える化」し、それらを共有化することによって業務改革活動を成功に導く方法についてお教えします。業務改革によって業務効率を向上させれば、人手不足問題は自然に解決します。

従業員のニーズを調査することにより改革活動の有効性が事前検証でき、それを報告会で共有化することで従業員は改革活動に協力的となり、「抵抗勢力」も出現しません。講師の経験から、従業員の悩み・困りごと・不平不満の 80%は業務遂行方法および組織マネジメント方法の見直しで解決することを検証済みです。

セミナーでは、弊社の指導によりわずか 4 ヶ月で生産性を 15.7%向上させ人手不足を解決した事例紹介等を交えつつ、御社でも実施できるよう分かりやすく説明します。

【講師】

(株)トータルマネジメントシステム研究所 代表取締役 角川 真也 (つのかわ まさや)

中堅部材メーカーにおいて社内コンサルとして間接業務の「見える化」「最小化(ムダ取り+効率化)」「標準化」手法を全社展開、生産性を 300%向上させ会社倒産の危機を救う。独立後は『組織マネジメントシステム(ERP)』自社構築による間接業務の生産性向上手法普及に専従。数値データ(時間・金額)を駆使した科学的マネジメント手法による組織パフォーマンス向上を得意とする(「TMS 研」で HP 検索可)。セミナー開催実績：92 回/12 年、受講者累計：998 名、受講者評価：平均 77.8 点、著書『R&D 部門の働き方改革とその進め方』(技術情報協会刊・共著)

【プログラム】

1. 間接業務のムリ・ムダ・ムラを「見える化」する
 - 1) 従業員の本音を引き出すのは難しい
 - 2) 『ストレスチェック』に学ぶアンケート設計
 - 3) 回答精度の高いアンケート書式
 - 4) 従業員の心理的安全性に配慮した実施方法
 - 5) 数値データで定量的に本音を把握する方法

2. ムリ・ムダ・ムラを分析する
 - 1) 問題点を分類・整理し評価するランキング表
 - 2) 真の問題は組織風土とマネジメントにある

3. 対策を立案する
 - 1) 個別対策と根本対策
 - 2) 設計業務のムリ・ムダ・ムラを解決する根本対策
 - ①組織マネジメントシステム
 - ②人財育成システム

4. 対策を推進する
 - 1) 対策推進組織
 - 2) 成功の秘訣はトップダウンとボトムアップの併用
 - 3) 対策の実施順位

5. 情報を共有化する
 - 1) 職場の雰囲気を一瞬でポジティブに変える方法
 - 2) 集計・分析データの管理方法

6. 実施目的別事例紹介(4社)
 - 1) 快適職場構築（製造業（従業員数:700人））
 - 2) 従業員定着率向上（サービス業（従業員数:10人））
 - 3) 事業承継（専門商社（従業員数:10人））
 - 4) 人手不足解消（製造業の設計部門（部員数:125人））
 - 5) 実施事業所の声

7. 質疑応答